2025 年 10 月　作成（第 1 版）

医療機器承認番号：22700BZX00270000

医療用品（4）整形用品
高度管理医療機器　歯科用骨内インプラント材　JMDN コード：42347000

ＦＩＮＥＳＩＡ　１Ｐフィクスチャー　ファイナタイト

再使用禁止

【禁忌・禁止】

〈適用対象（患者）〉

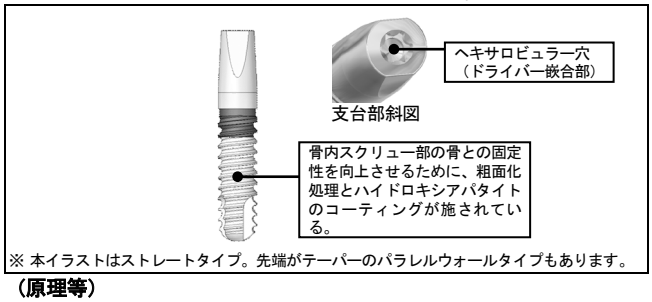
(1) 出血性素因を有する患者には適用しないこと。［オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。］
(2) 術後の骨形成に重大な影響を及ぼす恐れのある、代謝性疾患または内分泌疾患などの疾患を有する患者には適用しないこと。［オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。］
(3) 術後の組織治癒に影響を及ぼす恐れがあるステロイド剤投与下にある患者には適用しないこと。［オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。］
(4) 管理されていない糖尿病の患者には適用しないこと。［創の治癒が得られない恐れがある。］
(5) 強いブラキシズムや過重負担の状態にある患者には適用しないこと。［インプラント体や補綴物が破損する恐れがある。］
(6) 本製品の材料に含まれている金属成分（チタン合金）にアレルギーが確認されている患者には適用しないこと。［手術により当該症状の発生する恐れがある。］

〈使用方法〉

(1) 再使用禁止。［製品の品質低下や汚染の恐れがある。］
(2) 再滅菌禁止。［製品の品質低下や汚染の恐れがある。］
(3) インプラント体を専用器具以外の金属製器具で把持したり、インプラント体に他の金属製器具等の硬い物体を衝撃的に接触させたりしないこと。［インプラント体の術後破損につながるような有害な損傷や変形が生じる恐れがある。］

【形状・構造及び原理等】

(1) 本製品は、FINESIA シリーズの 1 回法用 1 ピースタイプのインプラント体である。切削せずに使用される。先端形状がストレートであるストレートタイプとテーパーのパラレルウォールタイプがある。
(2) サイズやタイプについては外装箱の表示ラベルに記載されている。
(3) 材質はチタン合金(Ti-6Al-4V)で、表面処理としてハイドロキシアパタイトのコーティングが施されている。



（原理等）

本製品は歯牙の欠損した歯槽骨に挿入、設置され、骨内埋入部の骨性の固定が得られた後、上部構造を装着し人工歯根として機能する。

【使用目的又は効果】

本製品は、歯の欠損部位の顎骨内に埋植し、歯科用補綴物を支持することによって咀嚼機能を回復させる歯科用インプラントである。

【使用方法等】

1. 術前の診断
　術前に骨幅、骨質、骨量の硬組織、軟組織の局所限局の診査及び、全身状態や植立部以外の口腔内状態などの診査を行い、インプラント体植立の可否を判断する。
2. インプラント体の選択
　症例に応じて適切なサイズの製品を選択する。直径 3.4 mm のインプラント体は、上顎側切歯部、下顎中切歯部及び下顎側切歯部欠損で使用することを推奨する。
3. インプラント体の埋入
　1) 切開・はく離
　　歯肉を切開し、歯肉粘膜をはく離後骨面の処理を行う。
　2) 埋入窩の形成
　　(1) 埋入位置の決定
　　マーキングバーを用いて埋入位置を決定する。
　　(2) 下穴の形成
　　パイロットドリル#16 を用いて下穴を形成する。
　　(3) 埋入窩の形成
　　パイロットドリル#22 を用いて皮質骨を穿孔する。ファイナルドリルを用いて、埋入窩の最終形成を行う。
　　試適用のガイドを用いて、埋入窩の形成状態（植立位置、方向、深度、適合）を確認し、必要に応じて埋入窩を修正する。
　3) インプラント体の埋入
　　(1) 本製品の包装を無菌的に開封し製品を取りだす。
　　(2) ヘキサロビュラドライバーでインプラント体を把持し口腔内へ運搬する。
　　(3) インプラント体の埋入は 20 rpm 以下、トルク値 20 N·cm で行う。必要に応じ、トルク値を除々に上げて埋入する（上限トルク値 50 N·cm）。
　　埋入ラインより根尖側を完全に埋入する（図 1）。

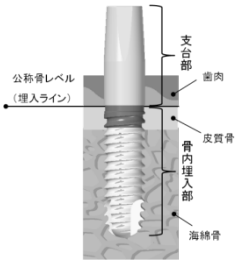
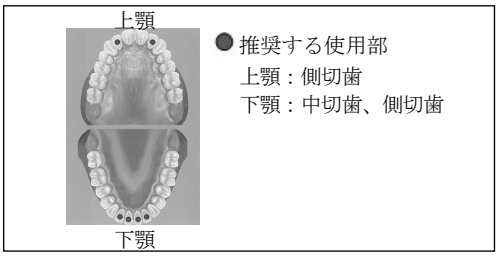


図 1　名称及び埋入位置

　4) 縫合
　　埋入終了後、はく離した歯肉粘膜を縫合する。
4. 上部構造の装着
　1) 免荷期間
　　インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保する。（下顎では 3 カ月以上、上顎では 6 カ月以上）
　2) 軟組織及び骨の治癒を確認し、インプラント体支台部に上部構造品を接合する。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

(1) 詳しい使用方法については、取扱説明書（FINESIA マニュアル）を参照すること。
(2) 対象部位の骨、歯根形態を正確に把握するために、レントゲン撮影、機器による測定、触診または視診を適切に行うこと。
(3) 避けるべき箇所（例えば下顎管、下歯槽神経、上顎洞、鼻腔、隣在歯など）をインプラント手術の前に確認すること。
(4) インプラント体直径 3.4 ㎜は、下記に示す部位で使用すること。［それ以外の部位で使用すると過大な荷重によりインプラント体が破損する恐れがある。］



(5) 過大な曲げ応力やモーメント（側方圧等）の発生する部位には使用しないこと。［インプラント体が破損したり、変形する恐れがある。］
(6) バーアタッチメントやブリッジに使用する場合は、上記（5）を特に注意すること。
(7) 本製品には、専用器具が用意されている。インプラント体の把持、骨への挿入には、専用器具を使用すること。

取扱説明書(FINESIA マニュアル)を必ずご参照ください。

添付文書管理番号：　KC2-DA-1-07S002-01

(8) 製品パッケージの開封時の注意

1) 外箱に表示されているインプラント体のタイプとサイズを確認し、シュリンク及び外箱の破線部を同時に押し破り開封する。外箱からアルミバッグを取り出す。なお、汚染防止のため、外箱の開封は、使用直前に行うこと。

2) アルミバッグを開封し､インプラント容器を清潔域に取り出す（図２）。
インプラント容器の蓋を外す。

図２

3) インプラント体を取り出す。
専用器具をインプラント体に装着し、容器からインプラント体を取り出す（図３）。

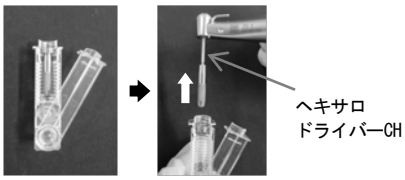


図３

(9) ドライバーをインプラント体に嵌合する際、対合するヘキサロビュラー穴の角の位置を合わせて挿入すること。また、まっすぐに奥まで挿入し、しっかりと固定されていることを確認すること。[器具およびインプラント体ヘキサロビュラーの変形の恐れがある。]

(10) インプラント体埋入時の注意

1) トルクを確認できる器具と組み合わせて使用すること。

2) ドライバーの中心軸がインプラント体と同軸となっていることを確認し、曲げ荷重を与えないようにすること。[器具およびインプラント体六角部の変形の恐れがある。]

3) 50 N･cm を超えるトルクで使用しないこと。[器具およびインプラント体破損の恐れがある。]

4) 電動でインプラント体を埋入する際は、電動式ハンドピースは下記の設定で行うこと。

回転方向	正方向
回転数	20 rpm以下
トルク値	20 N･cm※
※：上記のトルク値で埋入が困難な場合には必要に応じ、トルク値を徐々に上げて埋入すること。（上限トルク値 50 N･cm）	

5) インプラント体の埋入深さを確認しながら使用し、埋入の最後は、トルクレンチを用いて手動で慎重に行うこと。
[電動式ハンドピースにて最後まで埋入した場合、過埋入になる恐れがある。]

(11) 埋入されたインプラント体は、オッセオインテグレーションが獲得されない場合があることは、文献でも言及されていることである。オッセオインテグレーションが獲得できなかったインプラント体は除去することを推奨する。

(12) ケースを開封後使用しなかったインプラント体は、汚染されている恐れがある。そのようなインプラント体は、絶対に使用せず、廃棄すること。［そのようなインプラント体を使用すると、感染の恐れがある。］

(13) インプラント体の挿入や専用器具の操作の際は、それらの誤飲に注意すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

(1) インプラント部位に放射線治療の既往を有する患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(2) 以下のような術後管理ができない患者。[インプラント体の安定性が得られなかったり、手術後のケアが困難であったりする恐れがある。]
- 認知症またはその他精神的障害
- 薬物中毒
- アルコール中毒

(3) インプラント体の機能に過度の期待を持つ患者。[インプラント体の耐用年数や必要な術後管理等への理解が得られないことがある。]

(4) 十分な骨幅や高さ（骨量）がインプラント体周囲に得られない患者。[インプラント体がゆるんだり、将来的にインプラント治療が失敗したりする恐れがある。]

(5) 骨質が粗な患者。[インプラント体がゆるんだり、将来的にインプラント治療が失敗したりする恐れがある。]

(6) 口腔衛生が悪い患者。[インプラント体がゆるんだり、将来的にインプラント治療が失敗したりする恐れがある。]

(7) 口腔内に重度の炎症疾患がある患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(8) 埋伏歯、嚢胞、残根、腫瘍などがある患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(9) 治癒不良の既往歴がある患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(10) インプラント体の歯槽粘膜貫通部周囲に付着歯槽粘膜幅が十分にない患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(11) 隣接支台歯の骨植不良の患者。[インプラント体がゆるんだり、将来的にインプラント治療が失敗したりする恐れがある。]

(12) 不正咬合の改善ができない患者。[インプラント体がゆるんだり、将来的にインプラント治療が失敗したりする恐れがある。]

(13) 口腔領域における悪習癖がある患者。[オッセオインテグレーションが得られない恐れがある。]

(14) 心筋梗塞など、循環器系に重篤な疾患を有する患者。[手術時に発作を惹き起す恐れがある。]

(15) 糖尿病の患者。[創の治癒が得られない恐れがある。]

2. 重要な基本的注意

(1) 直径 3.4mm のインプラント体は、直径 3.7mm 以上のインプラント体と比較して強度が劣るため、可能な限り直径 3.7mm 以上の製品を使用すること。

(2) インプラント治療を行う際には、「口腔インプラント治療指針」（公益社団法人日本口腔インプラント学会編）等の最新情報を参考に行うこと。

(3) FINESIA システムは、試験による MR 安全性評価を実施していない。

(4) 患者に適用可能であるかどうかを判断するために、十分な術前診査を行うこと。

(5) レコードカードの読取又は貼付により、手術に使用された製品の情報をカルテに記載すること。（トレーサビリティ確保のため）

(6) 術後の定期的な診査も必要であり、必要に応じて咬合調整や患者への口腔衛生指導及び生活習慣改善指導を行うこと。

3. 不具合・有害事象

(1) 重大な不具合

1) インプラント体基材の強度を上まわる過大な側方圧やねじり応力が加わった場合、インプラント体が変形したり破損したりする恐れがある。

2) インプラント体周囲、及び連結した隣在歯周囲の歯槽骨が吸収した場合、インプラント体が変形したり破損したりする恐れがある。

(2) 重大な有害事象

インプラント体に用いられている金属材料が、アレルギー反応の原因になることが報告されている。

(3) その他の不具合

手術後にインプラント体の固定(オッセオインテグレーション)が得られない場合がある。

(4) その他の有害事象

裂開、治癒の遅延、感覚異常、知覚過敏、浮腫、血腫、感染、炎症を生じることがある。

4. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

妊娠中の患者には慎重に適用すること。[骨密度が低下し、インプラントが適正に固定されない恐れがある。]

【保管方法及び有効期間等】

使用期限(自己認証による)

使用期限（年月）は外箱に記載。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

京セラメディカル株式会社
TEL ： 0120-923725